

赤鼻のクラウンと一緒に体を使った表現を「遊び—ASOBI—は芸術！」

クラウン(道化師)・ワークショップ

2年前の公演とワークショップで大人気だったクラウンのロネとジージが帰って来る。なんと子どもから高齢者の方まで参加できる楽しいコミュニケーションと表現のワークショップは人気の企画。パントマイムやジャグリング、マジック、バルーンを使って面白おかしく表現して、人との交流をすることにトライ。ぜひクラウンと一緒に「幸せなキモチ」を形にしてみよう。また、9月29・30日にはロネとジージの公演も。こちららどうぞお楽しみに。



2年前にも行われたワークショップの様子。参加者はみな楽しそう。©池上直哉



ワークショップの参加者たちによる2年前の公演での成果発表。ちょっぴり緊張気味? ©池上直哉

ロネとジージからのメッセージが届きました!
クラウンの赤い鼻の意味を知ってる人、いる? 今回のロネジジはね、そのホントの秘密をみんなに教えちゃおうと思うんだ。それは魔法の呪文と同じで、上手く使えるようになるとステキなことがいっぱい始まるんだ。そうやってたくさんの冒険をしてきたロネジジと一緒に、赤い鼻、つけてみない!?

講師 RONE&Gigi (OPEN SESAME)
1990年「OPEN SESAME」結成以来「楽しい芸術」を合言葉に劇場をメインに活動するシアタークラウン。デュオ。強烈なキャラクターと確かなクラウンングを武器に国際的に活躍。クラウンカレッジ・ジャパン卒業後、モスクワ国際クラウン・フェスティバル参加、ウクライナ国立サーカスクラウン・バラエティ・スクール、モスクワ芸術座で学ぶ、97年ノー・レイに師事。ウイスコンシン大学クラウンキャンプ(USA) 常任講師。2002年クラウンズインターナショナル(イギリス) 最優秀クラウン賞受賞。2003年モンテカルロ国際クラウン・フェスティバル第2位。東京都ペンアーティスト。



ロネ(右)とジージ(左)。©池上直哉

クラウン・ワークショップ
「遊び—ASOBI—は芸術！」
ワークショップ体験コース

【日時】 8月3日(金)～5日(日) 各日13:00～17:00(3日間)
【会場】 彩の国さいたま芸術劇場 大練習室

【受講料】 一般3,000円 学生1,500円(保険料込み)
【定員】 30名程度(小学3年生以上対象)
【申込締切】 7月20日(金)必着

このほか、下記の成果発表公演に参加するコースもあります。成果発表コース参加の方は、体験コースに参加していただいた上で、その中から10名程度の方に参加していただく予定です。※ワークショップについての詳細はお問合せください。(案内書をお送りいたします)
彩の国さいたま芸術劇場事業部内 クラウン・ワークショップ担当 TEL:048-858-5503

クラウンのいる風景 NEW

第一部「私だけのクラウンショー'07」—きらきら☆りん!—
(ワークショップ受講者による成果発表)

第二部「クラウンのいる風景」—ロネとジージの夢のむこうがわ—

【日時】 9月29日(土) 開演16:00 30日(日) 開演 14:00
【会場】 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

【出演】 RONE & Gigi (OPEN SESAME)
【チケット(税込)】 大人2,000円 子供(3歳以上中学生以下) 1,000円
セット券2,700円(大人1枚+子供1枚)・いずれも全席自由
【発売日】 メンバース 6月30日(土) 一般 7月7日(土)

彩の国シェイクスピア・シリーズ第17弾

『恋の骨折り損』観劇をもっと楽しくしてくれたイベント

彩の国さいたま芸術劇場では、人気の彩の国シェイクスピア・シリーズに関連して、様々なイベントを開催しています。少しだけ早めに劇場に来れば、誰もが素敵なお音楽を楽しめるライブから、申し込み制で普段はなかなか見られない稽古場やバックステージを見られるイベントまで。3月に上演した『恋の骨折り損』でも、これらのイベントに多くの人が参加して楽しめました。

熱の入った稽古に間近で触れた『恋の骨折り損』稽古場見学会

3月4日と5日の両日、彩の国さいたま芸術劇場 大ホールで行われた稽古場見学会には、それぞれ約50名が参加。4日が大ホールでの稽古初日ということもあり、稽古は最初からヒートアップ! 熱が入った稽古を間近で見学したラッキーな参加者からは、「蜷川さんの指示にすぐ対応できるスタッフにびっくり!」「ちょっとした身振り、手振り、立ち位置の間隔にまで気を配る演出に感激」といった感想が。稽古を見てから本番を観れば、より一層、『恋の骨折り損』を楽しめたはず。



大ホールでの稽古を見学した参加者たち。蜷川幸雄(手前)の熱の入った演出にちょっと緊張の面持ち。

舞台の上や裏側で小さな発見を重ねた『恋の骨折り損』バックステージツアー

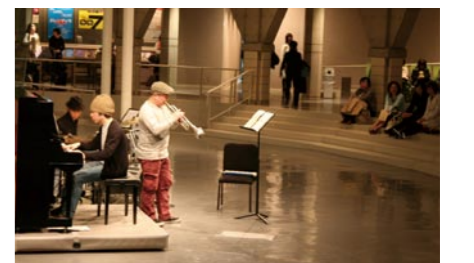
3月18日の公演終了後に行われたバックステージツアーでは、約30名の参加者が、舞台監督の明石伸一さんの案内で、舞台にあがり、『恋の骨折り損』の舞台を覆いつくしている柳に触れてみたり、舞台裏を見学したり……。客席から見える舞台は意外と狭く、逆に舞台裏はとても大きいことに、参加者一同驚いた様子。また、美術プランナーの中越司さんからは、この柳は実は紙でできており、3種類計5,000本の枝を束ねて作られている、などといった貴重な製作秘話を聞く事も。小さな発見を重ね、約40分ほどのツアーは充実した時間となったようです。



舞台上がり、各々、セットの柳に触ってみる参加者たち。

開場前に、観劇気分を高めたアーツ・シアター ライヴ!!

彩の国シェイクスピア・シリーズの恒例となった「さいたまアーツ・シアター ライヴ!!」。3月16日から31日まで上演された『恋の骨折り損』公演の際にも、開場前の30分間、劇場内の情報プラザなどで演奏されました。今回の演奏者は、若手のソロ及びアンサンブルから巨匠と言われる方まで、バラエティに富んだラインナップ。公演を楽しみに、ワクワクした気持ちで劇場を訪れた多くの方が足を止め、素敵なお音楽に聴き入った様子でした。今後も、このライブは実施される予定なので、観劇に訪れる際は、開場の30分前に劇場へ行くことをお勧めします。



情報プラザで行われた若手のアンサンブルに聞き入る観客。

NEW 彩の国さいたま芸術劇場 蜷川幸雄公開対談 **NINAGAWA千の目 第9回**

歌手・作曲家・俳優 **宇崎竜童** × 演出家 **蜷川幸雄**

【日時】 6月17日(日) 13:00～(約1時間)
【会場】 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
【定員】 150名(入場無料)

宇崎竜童(うさぎ りゅうどう)京都生まれ。1973年にダウン・タウン・ブギウギバンドを結成しデビュー。『港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ』など数々のヒット曲を生み出す。作曲家としても活動を続け、『思い出のぼろぼろ』(1976)で日本レコード大賞作曲賞、『駅—STATION』(1981)などで日本アカデミー賞優秀音楽賞を受賞。2006年、『ロック曾根崎心中』と蜷川幸雄演出『天保十二年のシェイクスピア』の音楽で、第13回読売演劇大賞優秀スタッフ賞受賞。現在は、アーティストへの楽曲提供やプロデューサー、映画、舞台音楽の制作や俳優として、幅広く活動中。

＜応募方法＞
はがきに以下の事項を記入の上、締切日までにご応募ください。(応募多数の場合は、抽選を行います。この場合、入場券の発送をもって抽選結果の発表にかえさせていただきます。)
●記入事項 ①郵便番号・住所 ②氏名 ③年齢 ④希望人数(1枚のハガキで2名様まで)
●応募締切 5月31日(木) 当日消印有効
●応募先 〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1 (財)埼玉芸術文化振興財団 「千の目」入場券集係
●問合せ先 財団メンバー事務局 tel.048-858-5507

※ご応募頂いた方の個人情報につきましては、本公開対談の抽選及び入場券の発送のためにのみ利用させていただきます。